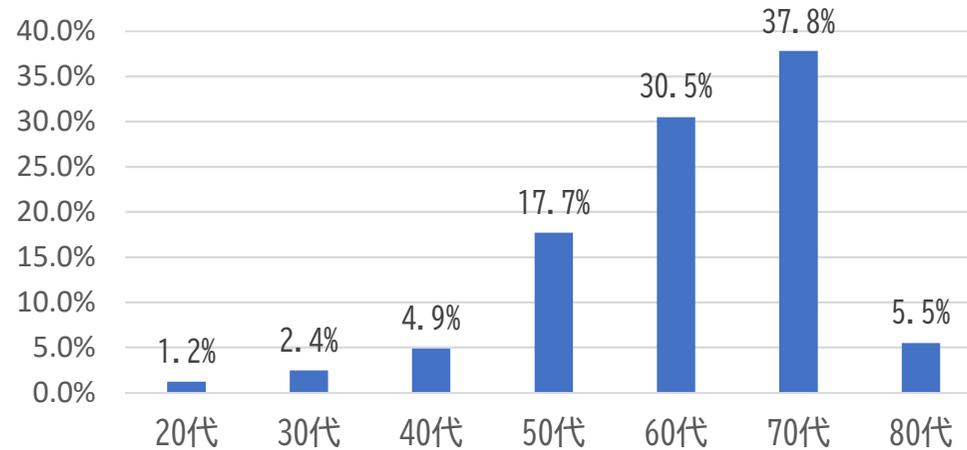
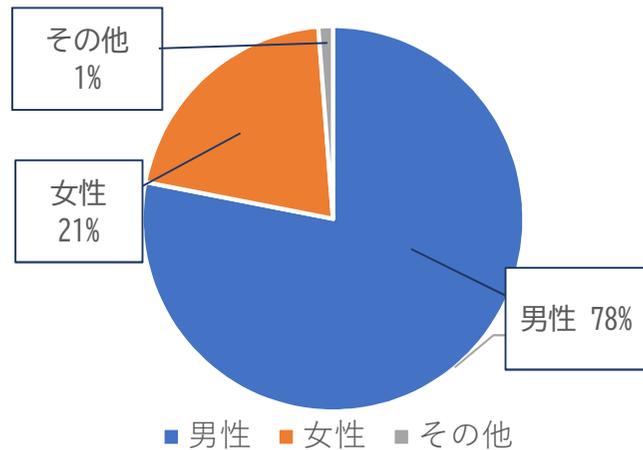


令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

- ◆実施日及び実施場所：令和7年6月7日（土）・伊勢原市民文化会館・小ホール
- ◆アンケート対象者：自治会長及び役員、防災リーダー、災害ボランティア、一般市民等（210人）
- ◆アンケート回収人数：164人（回収率78.1%）

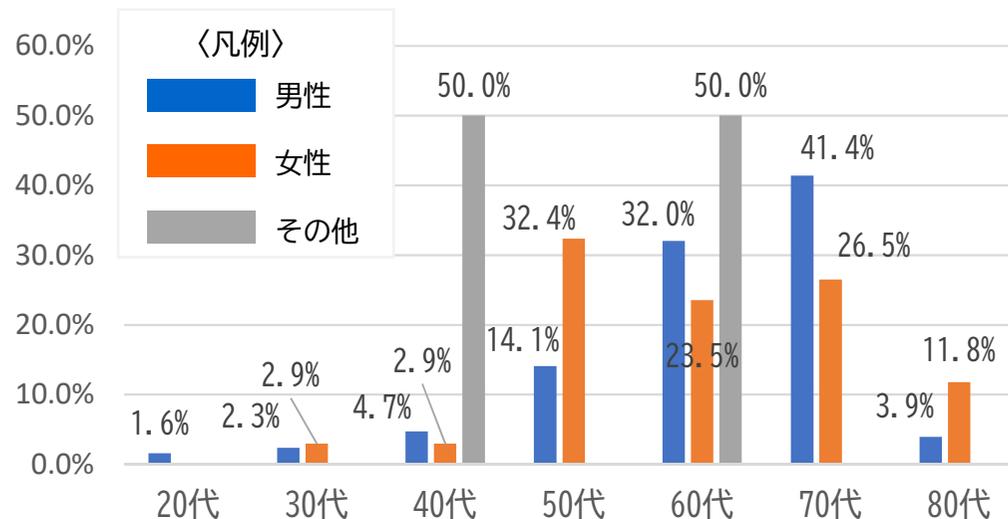
◆あなたの性別・年代を教えてください



◇「命を守るための防災気象情報」をテーマの講演会でした。男性の参加率が約8割という結果となりました。

◇年代では70代が最も多く次いで60代で、性別では男性が70代、女性が50代が多い結果となりました。

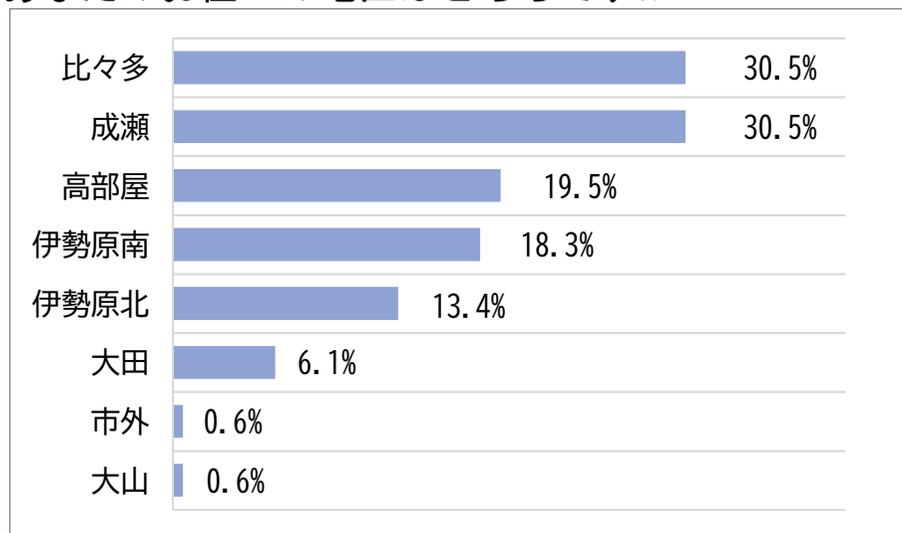
◇今後は、女性が参加しやすい曜日・時間等を工夫して開催します。



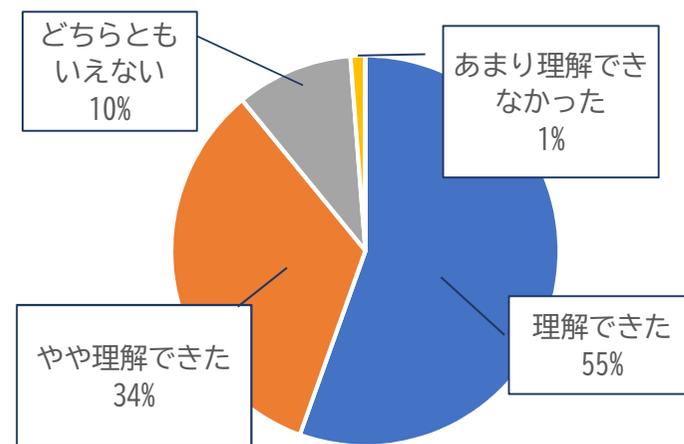
◇性別による年代別の比較（参考）

令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

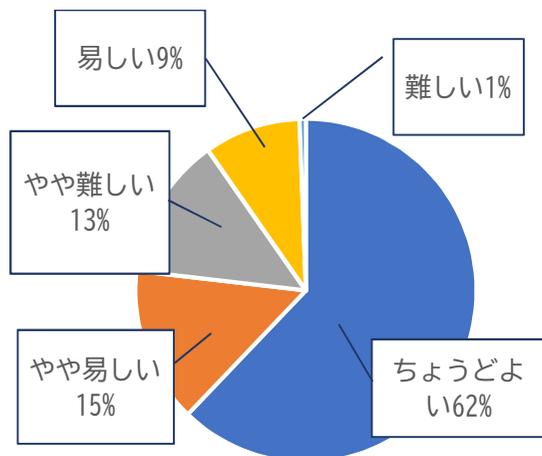
◇あなたのお住いの地区はどちらですか？



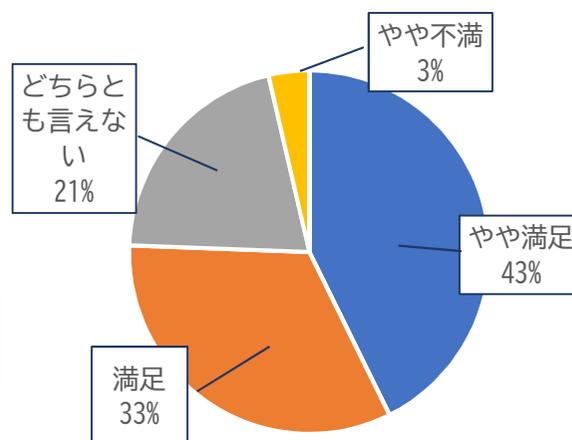
1 本講演会は、理解できましたか？



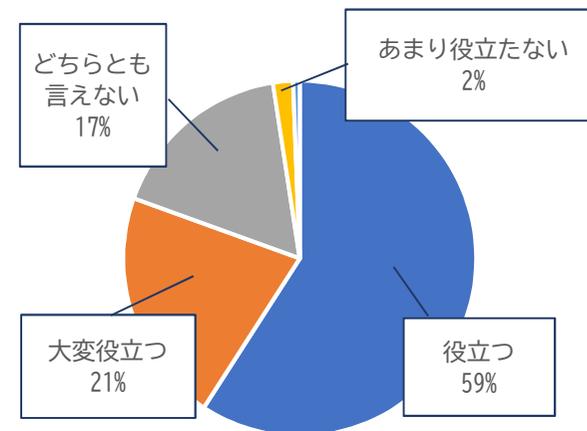
2 本講演会の難易度は？



3 本講演会の満足度は？

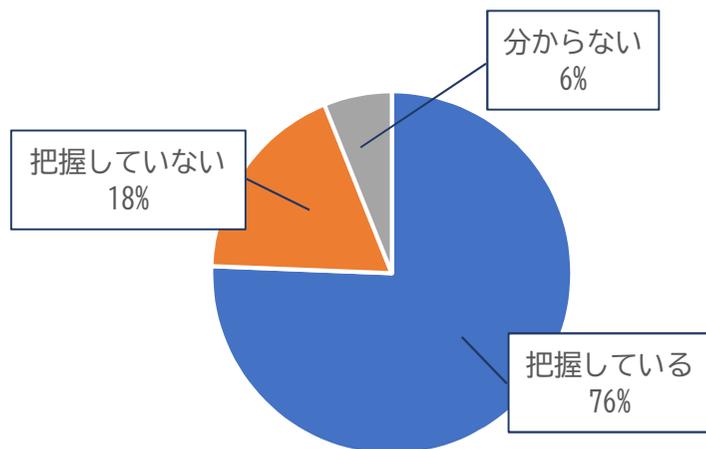


4 本講演会の災害時に役立つと思いますか？



令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

◇市作成の洪水・土砂災害ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを把握していますか？



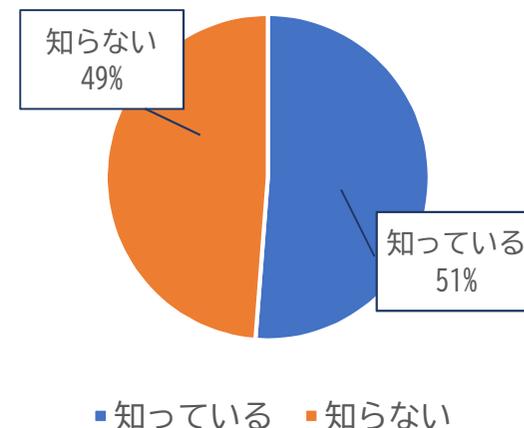
- ◇ 本公演会に参加された1/4に当たる方が自宅周辺の災害リスクを「把握していない・わからない」と回答しています。市内には土砂災害防止法に基づく急傾斜地の崩落が200箇所、土石流が81カ所あり、更に浸水想定区域があります。
- ◇ 災害被害の最小化を図るためには、災害危険区域を平素から把握し、災害種別に応じた避難行動が必要です。今後は、防災訓練や研修等を通じて、ハザードマップの見方・使い方の説明等を行う必要があります。

◇市では、高齢者や障がい者の避難を支援するための「災害時要援護者避難支援制度」を運用していますが、本制度をご存じでしたか？

◇本市では、地震や風水害において、障がい者や高齢者等の避難行動に時間を要する方々の優先避難できるよう「災害時要援護者支援制度」を平成19年度より運用を開始している。

◇今回の防災講演会では、全102のうち約8割に当たる自治会・自主防災会にアンケートをところ、約5割が「知らない」と回答しています。

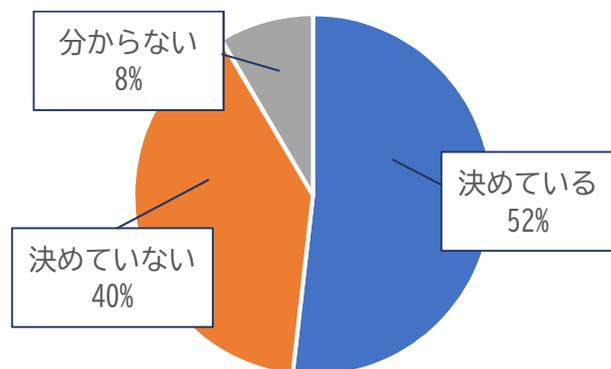
◇災害時に要配慮者を円滑に避難できるようにするため、防災訓練や研修会等を通じて、普及・啓発していく必要があります。



令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

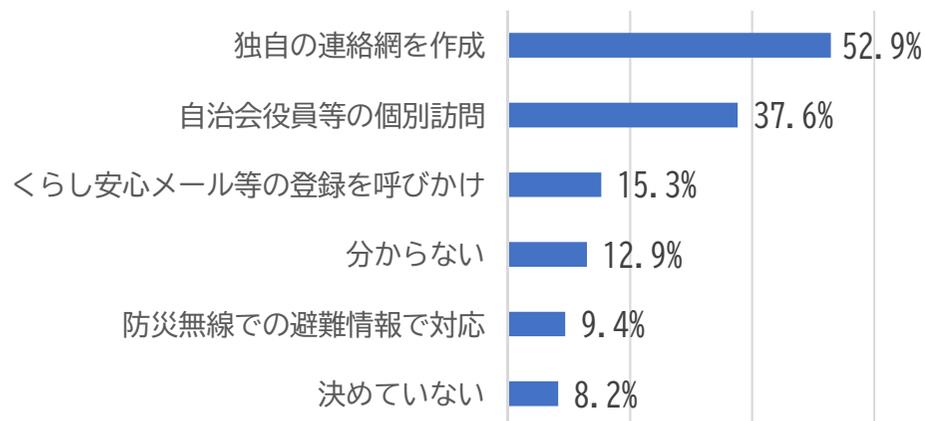
◇災害時要援護者支援制度を「知っている」と回答した方にお聞きしました。

1 自主防災会で避難情報の伝達及び避難支援をする人を決めていますか？



- ◇ 決めていると回答した方の割合は約5割でした。また、制度を知っていても「分からない」と回答した方が約1割という結果でした。
- ◇ 登録された要配慮者は、避難支援される者と期待していますので、早期の段階で解決する必要があります。

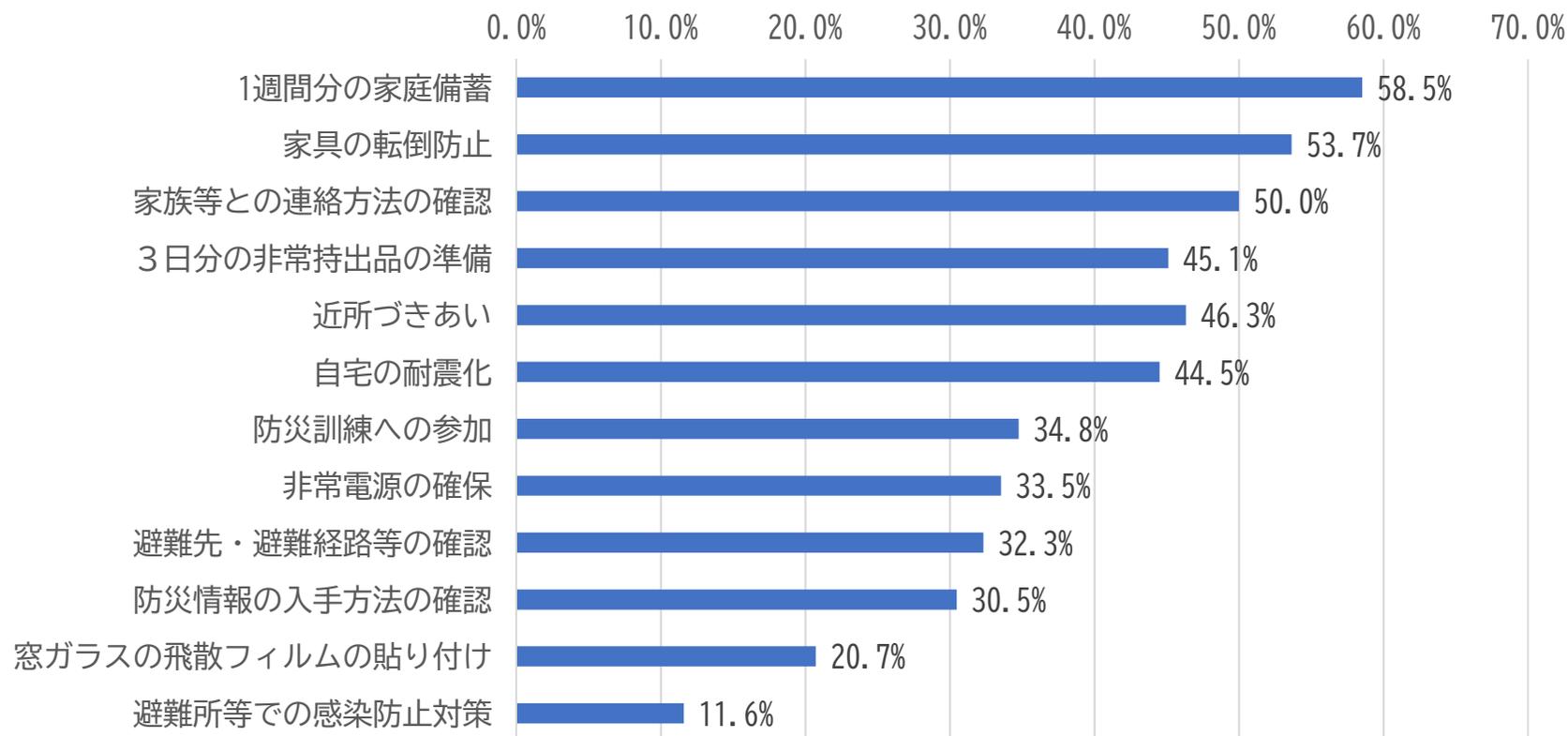
2 「決めている」とか回答した方にお聞きしました。貴自治会（自主防災会）では、「避難支援をする人」どのような手段で伝達することになっていますか？



- ◇ 「独自の連絡網を作成」が最も多く「52.9%」と過半数を超え、次いで「自治会役員等の個別訪問」が「37.6%」でした。
- ◇ くらし安心メール「15.3%、」や防災無線等での伝達「9.4%」と、市の情報を受信したら避難支援の行動を開始となっているが、確実に行動を実施したのかを点検・確認することが必要です。
- ◇ 「分からない・決めていない」が2割を超えています。防災訓練や研修等での啓発が急務となっています。

令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

◇あなたが、防災対策を行う上で、重要だと思うもの何ですか？（複数回答）

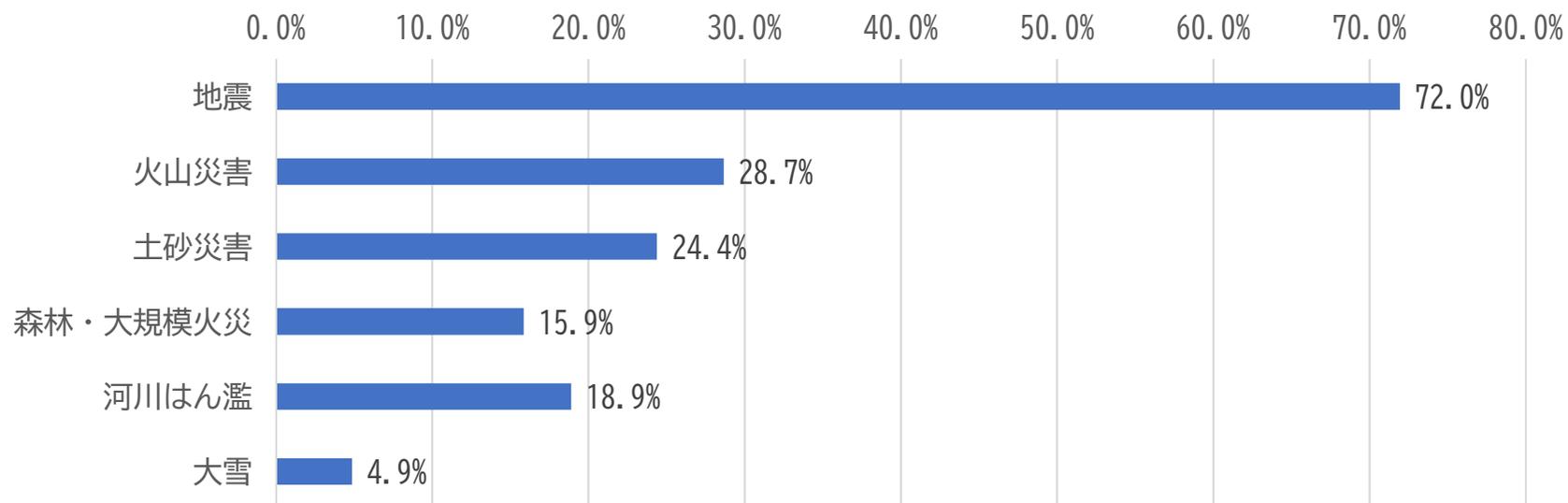


◇ アンケートの結果では、過半数の方が「1週間分の家庭備蓄」「家具の固定」が重要だと回答しています。平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では、地震を直接の死因とする死者数の9割近くが、家屋、家具類等の倒壊による圧迫死と思われるものでした（平成7年度版警察白書より）。

◇ 令和3（2021）年度の伊勢原市の耐震化率の推計値は、「住宅が89.7%、」「多数の者が利用する建築物等が90.1%」となっています。

令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

◇今後、どのようなテーマの講演会が良いと思いますか？（複数回答可）



- ◇ アンケートの結果、7割を超える方が、南海トラフや・首都直下地震等を踏まえた、地震対策をテーマとした講演会を希望されています。本市は、こうした巨大地震の影響を受ける地域にあるため、地震への備えを強化していく必要があります。
- ◇ 次いで、巨大地震により火山活動が活発化され噴火を誘発することがあるため、火山災害をはじめ、複合災害を想定した研修会や防災訓練を実施する必要があります。

令和7年度防災講演会(第1回自主防災リーダー養成研修会)実施後アンケート結果

◇良かった点や改善点など

NO	主な意見及び感想など
研修会全体を通じた感想	
1	気象庁のHPを見たことがなかった。良い学びとなった。本講演会に参加できて良かった。
2	新しい防災気象情報が令和8年出水期から運用開始とのこと。事前確認できたのは良かった。
3	時間内に終了するように講演してほしい。途中退出の人が目立った。とても残念だった。
4	伊勢原市の具体事例に関連させながらの講話を希望。もっと良くなると思う。
5	防災を考える良い機会となった。
6	市長のあいさつが印象的でとても良かった。
7	冷房が少し効き過ぎていた。
8	今回のような全体の話ではなく、自治会単位でも防災講演会を開催してほしい。
9	わかりやすい講演でした。
説明者及び資料等について	
10	資料の字が小さく、見づらかった。パワーポイントも見づらく、説明箇所をポイントするなどの工夫を。
11	画面が小さい。説明者の声が小さい。ピンマイクを付けることを提案する。
12	配布資料はカラー印刷でお願いしたい。白黒印刷だと分からないところがあった。
13	カラー印刷が難しいのであれば、事前にダウンロードできるようにしてもらえると、各自対応する。
14	申し訳ないが講演会ではなく、朗読会のようにとても残念だった。マイクが悪いのか声が小さいように思う。
講演会に対する疑問・質問等	
15	テレビの天気予報でいう雨量が時間雨量だったり、総雨量だったりしてわかりづらい。
16	テレビで「台風は上陸のおそれあり」というが、「上陸するでしょう」とはっきり言ってほしい。